

能生中学校区の子どもたちの健やかな成長を目指して

かがやきプロジェクト通信

能生中学校区連携だより

令和6年12月24日(火) No.5



いじめ見逃しゼロを目指して

令和6年度 能生中学校区いじめ対策委員会



令和6年度 いじめ見逃しゼロスクール

11月13日(水)に「いじめ見逃しゼロスクール集会」を実施しました。

今年度は、地域を元気にするモデル・タレントとして活躍されている山田彩乃様を講師にお招きしました。山田様は、ラジオや多くのTV番組等でご活躍される傍ら、SDGs活動や子ども食堂の運営など多岐にわたり活動されています。

1 小・中混合アイスブレイキング

生徒会総務が主体となったアイスブレイク活動では、小中学生5,6人で1グループをつくり、「十人十色」ゲームに挑戦しました。「好きなラーメンの味は？」のお題に「自分だったらこの味が好き」などと答えながらグループ内で自己紹介していき、最後に出題者の好きな味をグループで話し合っ



て当てるというゲームです。お互いのことを知り合いながら、グループで話し合うことで、和やかな雰囲気となりました。自分が相手に思っていたイメージと相手の答えとにギャップが生まれる時がありますが、先入観や思い込みだけで相手の気持ちを受け止めないように、広い視野をもつ大切さなどアイスブレイクを通して学ぶ機会となりました。



山田様は学生時代に「大人になってからも大切な人との接し方などを伝えられる先生（大人）を目指したい」と学校の先生を目指していたそうです。ただ、その時のご自身は自分の意見を言えず、誰かから間違っているとと言われることが怖かったこと、いろいろな経験をしていない自分に自信がもてなかったことを振り返られ、自分を変えるための挑戦を始めたそうです。そのチャレンジの中で、世界4大ミスコンの1つ、Miss Earth Japanに選ばれ、世界90カ国の代表の方々と出会ったり、地域のために活動

を行う NPO 法人 Lily&Marry' S に所属し、地球の子ども食堂と宿題 Cafe を運営したり、キレイミライブプロジェクトを起こし、地域や海岸の清掃活動をされていることを具体的にお話くださいました。

特に子ども食堂の運営は、資金面等いろいろなことで苦労が多い中、毎日運営することにこだわって行われているそうです。そこには、山田様の「みんなの居場所をつくるため」という使命感のような願いが詰まっていた。「どこにも居場所がないんじゃないかと思うときもあるけど、世界は意外と広く、必ずどこかに居場所はあると伝えられる場所でありたい。」と子ども食堂への想いをお話くださいました。

山田様はこれまでのたくさんの人との出会いとご経験からお話を以下のメッセージでまとめてくださいました。

「人を大切にする人には 人を大切にする人が集まる」

自分だけが楽をしようとしたり、困っている人を助けられない人は本当に困っているときに助けてもらえませんか。今を大切にして、周りの人に何ができるか考えてみませんか？

いじめ見逃しゼロスクール集会後の感想から

- ・ 人のためになることを自分からしていきたい
- ・ 自分も他人の意見に乗っかることが多いから自分の意見をもっと言えるようにしたい
- ・ 憧れの自分像を「になりたい」で終わらせるのではなく、山田さんのように自ら行動して叶えていきたい
- ・ 人と関わることは難しいけど、「したことは返ってくる」という言葉を心において接していこうと思った
- ・ 自分主体で物事を考えずに、協調性を大切にしたい
- ・ 人と人の違いを受け入れて誰とでも仲良くしたい
- ・ 自分がされたいことを周りの人にやってあげて友達といい関係を築きたいと思う

能生中学校のいじめ見逃しゼロに向けた取組

各委員会が専門性を生かしたイベントを提案し実践しています。

また、活動を紹介するポスターを作成し全校で共有しました。

来年度広島派遣において、能生中学校として「平和」を願う気持ちを伝えるために、各学年で分担し千羽鶴を作成しました。



出来上がった千羽鶴に込められた全校生徒の思いは、来年度の代表生徒に託されます。



他にも道徳や学活の時間では『生きる』を教材として活用し、学級で差別や人権について学習を深めています。

各小学校のいじめ見逃しゼロスクール活動

磯部小学校

温かな人間関係を築くため、11月5日（火）に縦割り班で「全校謎解きウォークラリー」を実施しました。班ごとに校内にあるチェックポイントを探し、班長がみんなの意見を聞きながら謎を解いていきます。難問もありましたが、全班が最終ミッションをクリアすることができ、みんなで喜び合いました。異学年の仲間と協力する活動を通して、互いのことをよく知り、相手を意識した優しい言葉掛けや行動が多く見られました。



12月4日（水）には、全校集会を行いました。高学年が「能生地区のいじめ見逃しゼロスクール集会」で感じたことや、「いじめのない楽しい学校」にするための提案を発表すると、真剣に耳を傾ける下学年の姿が見られました。これからも、全校が仲良く楽しく過ごせる磯部小学校を目指します。



能生小学校



①道徳授業参観

学習参観日に合わせて、人権学習・同和学習の授業公開を実施しました。題材の場面に対して、共感したり疑問をもったりしながら、偏ったものの見方や考え方への憤りをしっかりもつ時間となりました。

②能生小学校いじめ見逃しゼロスクール集会

12月12日（木）、寒い中でしたがわかフレ班みんなで風船バレーを行い、体を動かしながら体も心も温まりました。そして、各学級で話し合った「いじめ見逃しゼロ目標」を発表しました。目標に込めた思いや理由を聞いて、全校で「いじめは絶対にしてはいけないもの」「絶対になくそう」という気持ちを高めました。



南能生小学校



【人権集会】

「人権とは何か」について学び、「子どもの権利条約」を基に、子どもにも尊重されるべき人としての権利があることを確認しました。縦割り班での話し合いの中で、学校の中で大切にしたい権利について考えました。

【『生きる』を活用した授業参観】

全学年が人権教育にかかわる授業を行い、保護者や地域の方に見ていただきました。授業後の懇談会では、「人権」をテーマに意見交換をしました。学校・家庭・地域が連携していくことの重要性を確認することができました。



【全校道徳】

人権擁護委員と地域の方をお呼びして全校道徳を行いました。「いろいろな見方や考え方があってよいこと」「どの人も気持ちよく過ごすための生活上の工夫」などについて学びました。紙芝居「さるかに合戦」を読んでいただき、温かい雰囲気の中で、心の学習を行うことができました。

中能生小学校

「いじめ見逃しゼロ中能生集会」を行いました。はじめに、5・6年生が中学校区で学んだことや、道徳で学んだ、自分も相手も大切にする言葉がけについて発表しました。そして、新潟県 SNS プログラムをもとに撮られたらいやだと感じる写真「ネットで知り合った友だち」について考えました。撮られていやな写真は、人によって違うことやネット上のアイコンや画像だけでは本当はどんな人か分からないことを知り、これから、どんなことに気を付けたらよいか考えました。

ここで考えたことを生かして、中能生小学校の合言葉「あなたも大事 わたしも大事 笑顔あふれる 中能生小学校」にしていこうという思いが高まりました。

